

# 令和7年国勢調査 結果速報（千葉県）

（ 概 要 ）

令和8年5月

千葉県総合企画部統計課

## 1 県の人口と世帯数

### (1) 人口

人口	6,258,512人
前回令和2年比	25,968人 減少 (減少率 0.41%)

#### ○概要

令和7年10月1日現在の本県の人口は、6,258,512人で、令和2年国勢調査(以下「前回調査」という。)の人口6,284,480人に比べ、25,968人(0.41%)の減少となっている。

本県の国勢調査における人口は、大正9年の第1回調査から前回調査まで増加が続いていたが、今回調査で初めて減少となった。

人口の増加率は、昭和45年の24.61%をピークに減少し、前回調査では0.99%であったが、今回調査では0.41%の減少となった。

### (2) 男女別人口

男	3,094,053人
前回令和2年比	23,934人 減少 (減少率 0.77%)
女	3,164,459人
前回令和2年比	2,034人 減少 (減少率 0.06%)

#### ○概要

男女別人口は、令和7年10月1日現在、男性3,094,053人、女性3,164,459人となっており、前回調査と比べ、男女とも減少(男性23,934人(-0.77%)、女性2,034人(-0.06%))となった。

なお、人口性比(女100人に対する男の数)は97.8で、前回調査(98.5)に比べ0.7ポイント減少した。

### (3) 世帯数

世帯数	2, 875, 923 世帯		
令和2年比	102, 083 世帯	増加	(増加率 3.68%)

#### ○概要

令和7年10月1日現在の本県の世帯数は、2,875,923世帯で、前回調査の2,773,840世帯に比べ、102,083世帯(3.68%)増加しており、人口が今回調査で初めて減少となった一方で、世帯数は大正9年の調査開始以降一貫して増加している。

増加率は、人口と同様に昭和45年の37.16%をピークに下降傾向にあり、前回調査では6.31%と、前々回(平成27年)の3.71%より2.6ポイント上昇したものの、今回調査では3.68%となり、前回調査に比べ、2.63ポイント減少した。

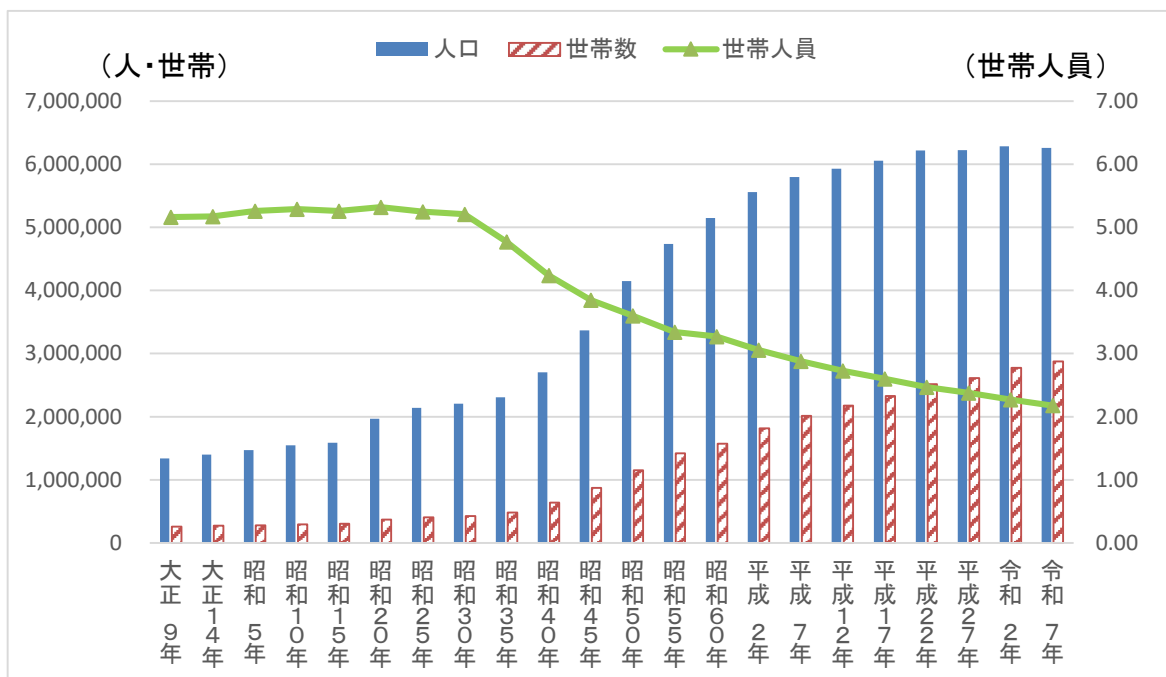
また、世帯数の増加率は昭和25年から人口の増加率を上回っており、平成12年からは人口の増加数より世帯の増加数が大きくなっている。

今回調査における1世帯当たりの人員は、2.18人で、前回調査の2.27人と比べ0.09人減少しており、昭和20年の5.32人をピークに減少傾向が続いている。

(各年10月1日現在)

図1 人口、世帯数及び世帯人員の推移

※数値は、9ページ参考表を参照



## 2 市町村別人口

人口は12市町で増加、42市町村で減少

- ・ 増加数が最も大きい市町村は、千葉市（20,019人）
- ・ 増加率が最も高い市町村は、流山市（7.65%）
- ・ 減少数が最も大きい市町村は、市原市（△9,913人）
- ・ 減少率が最も高い市町村は、芝山町（△13.17%）

### （1）市町村別人口の概要

人口の総数を市町村別に見ると、千葉市が994,970人と最も多く、次いで船橋市650,635人、松戸市496,714人、市川市494,207人、柏市435,373人の順になっており、これら5市を合わせた人口は、県の49.1%を占めている。

### （2）人口の増減状況

市町村別に見ると、前回調査に比べて増加したところは、千葉市が20,019人と最も多く、次いで流山市の15,281人、柏市8,905人、印西市7,791人、船橋市7,728人の順となっている。

また、人口が最も減少した市町村は、市原市が△9,913人、次いで銚子市△7,005人、香取市△6,256人、佐倉市△4,884人、君津市△4,797人の順となっている。

人口増加率の状況を市町村別に見ると、流山市が7.65%と最も高く、次いで印西市7.59%、八千代市2.78%、柏市2.09%、千葉市2.05%の順となっている。

また、人口減少率が最も高い市町村は、芝山町が△13.17%、次いで大多喜町△12.22%、銚子市△11.99%、九十九里町△11.65%、鋸南町△11.28%の順となっている。

表 1 人口増減数の大きい市町村

増加数の大きい市町村				減少数の大きい市町村			
順位	市町村名	増加数 (人)	増加率 (%)	順位	市町村名	減少数 (人)	減少率 (%)
1	千葉市	20,019	2.05	1	市原市	△9,913	△3.68
2	流山市	15,281	7.65	2	銚子市	△7,005	△11.99
3	柏市	8,905	2.09	3	香取市	△6,256	△8.65
4	印西市	7,791	7.59	4	佐倉市	△4,884	△2.89
5	船橋市	7,728	1.20	5	君津市	△4,797	△5.84
6	八千代市	5,554	2.78	6	旭市	△4,088	△6.41
7	浦安市	1,402	0.82	7	館山市	△4,026	△8.92
8	袖ヶ浦市	1,242	1.94	8	南房総市	△3,936	△10.98
9	木更津市	983	0.72	9	匝瑳市	△3,903	△11.14
10	成田市	891	0.67	10	富津市	△3,735	△8.80

(参考) 千葉市中央区 14,884 人増加、美浜区 7,389 人増加

表 2 人口増減率の高い市町村

増加率の高い市町村				減少率の高い市町村			
順位	市町村名	増加数 (人)	増加率 (%)	順位	市町村名	減少数 (人)	減少率 (%)
1	流山市	15,281	7.65	1	芝山町	△926	△13.17
2	印西市	7,791	7.59	2	大多喜町	△1,086	△12.22
3	八千代市	5,554	2.78	3	銚子市	△7,005	△11.99
4	柏市	8,905	2.09	4	九十九里町	△1,705	△11.65
5	千葉市	20,019	2.05	5	鋸南町	△789	△11.28
6	袖ヶ浦市	1,242	1.94	6	匝瑳市	△3,903	△11.14
7	船橋市	7,728	1.20	7	南房総市	△3,936	△10.98
8	浦安市	1,402	0.82	8	勝浦市	△1,801	△10.64
9	四街道市	677	0.72	9	長柄町	△698	△10.39
10	木更津市	983	0.72	10	横芝光町	△2,239	△10.14

(参考) 千葉市中央区 7.03%増加、千葉市美浜区 4.96%増加

図2 市町村別人口増減率（対令和2年）

令和7年国勢調査・市町村別人口増減率（対令和2年）

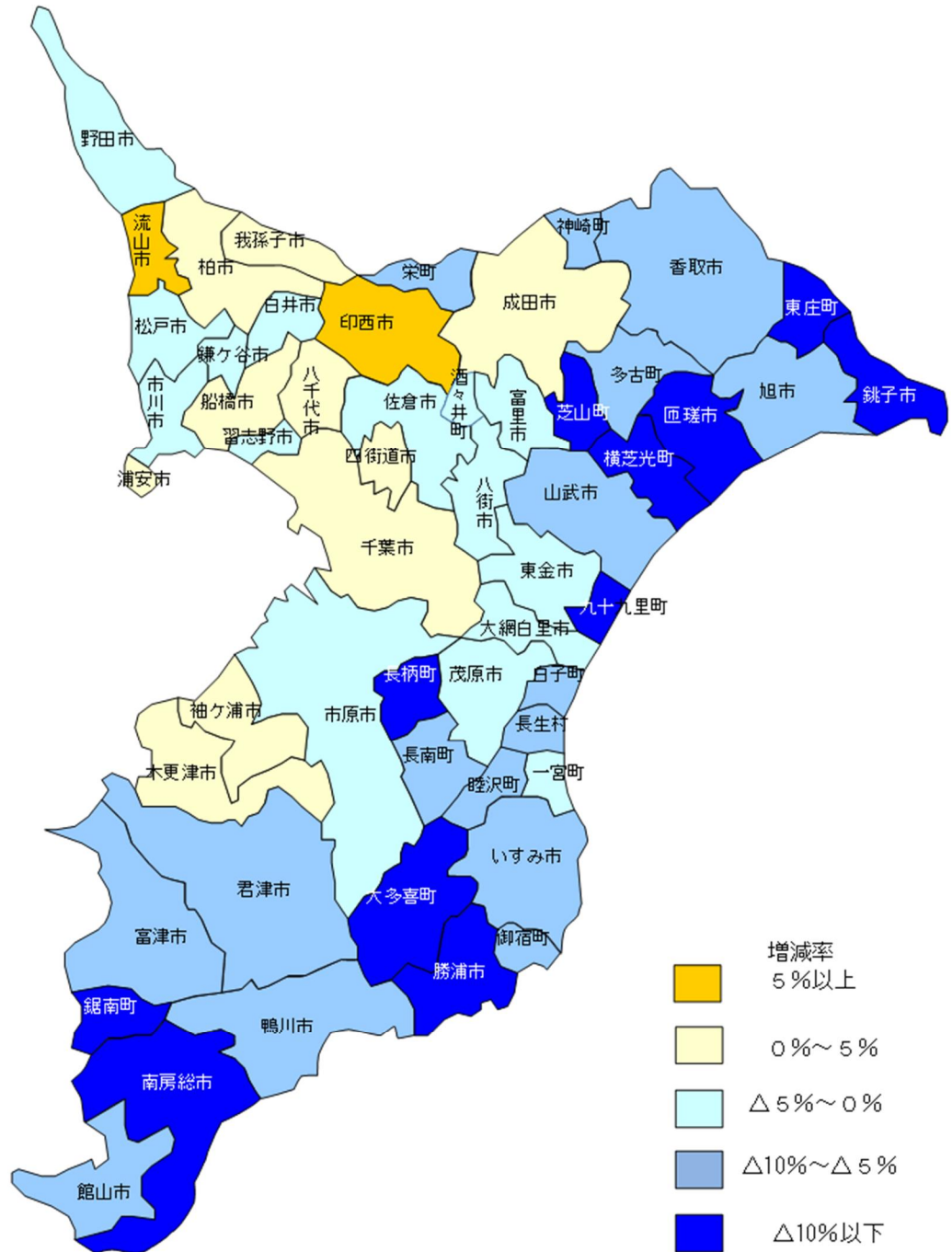


図3 市区町村別人口増減数

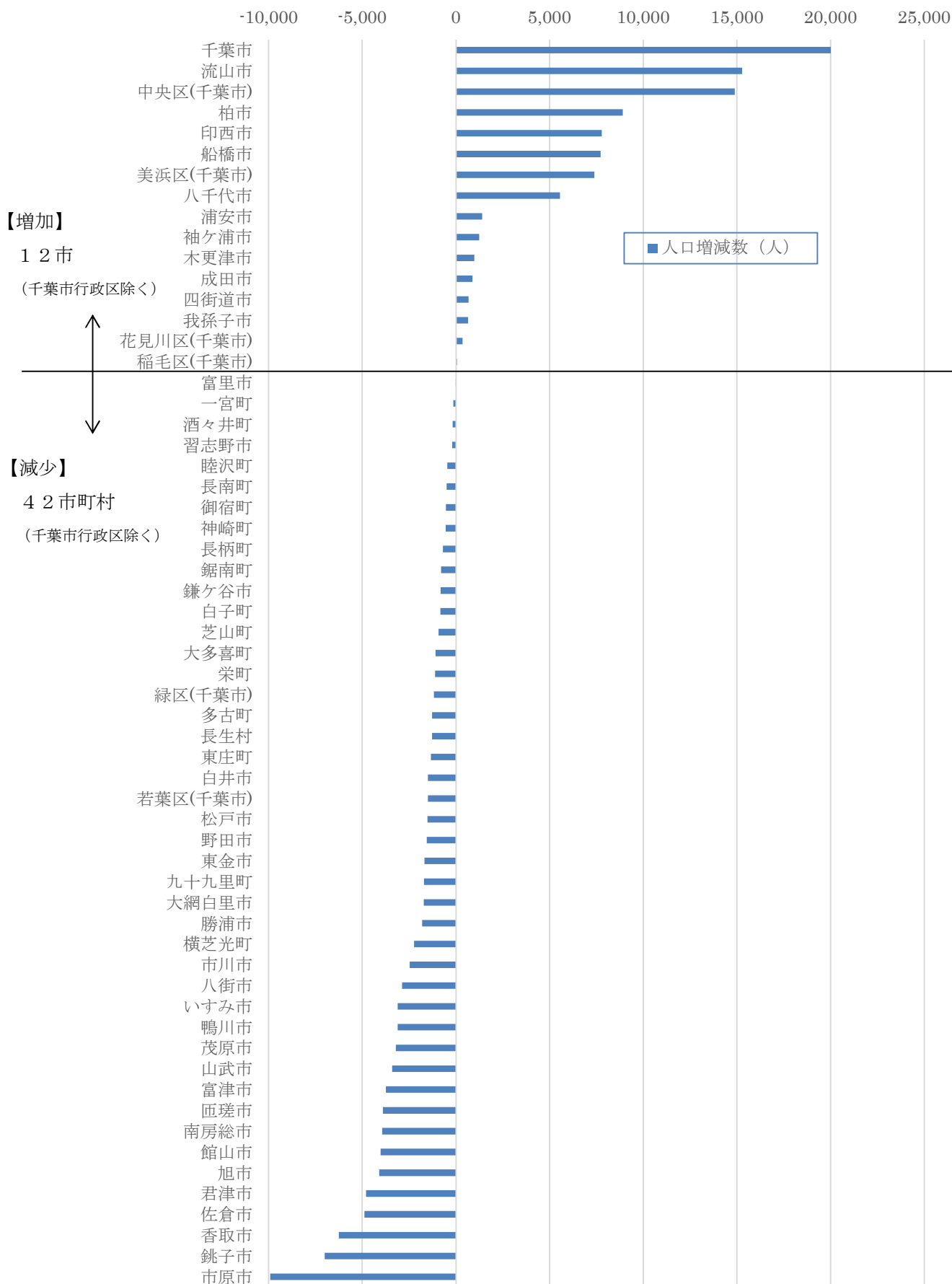
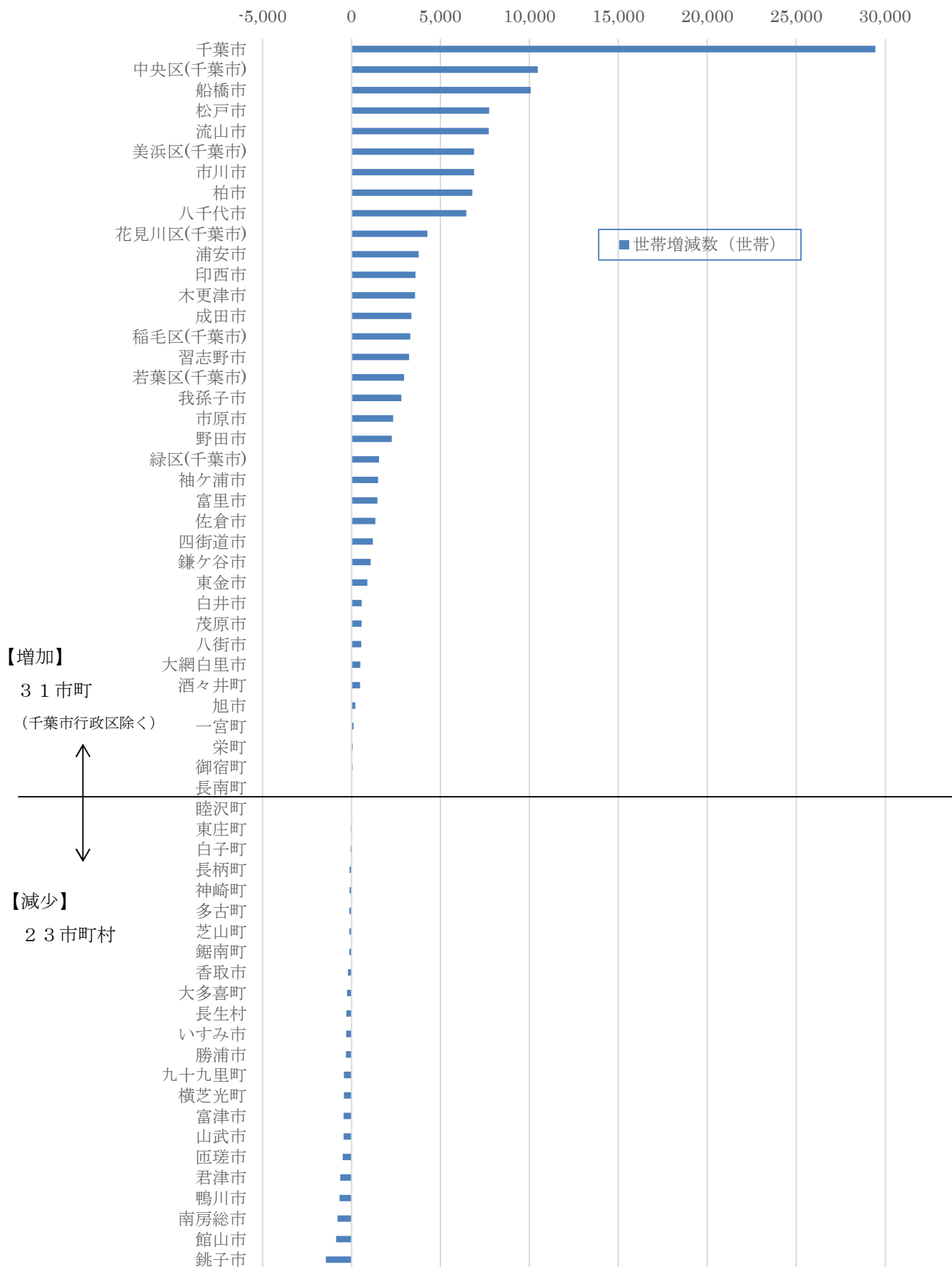


图4 市区町村別世帯増減数



[参考表]

千葉県人口及び世帯数の推移

年次	人口(人)					世帯数 (世帯)	人口 指数	人口 性比 (人)	世帯 人員 (人)	人口 密度 (人/km <sup>2</sup> )
	総数	男	女	前回からの人口増						
				増加数	増加率 (%)					
大正 9年	1,336,155	656,968	679,187	-	-	259,026	100	96.7	5.16	263.1
大正 14年	1,399,257	691,242	708,015	63,102	4.72	270,796	105	97.6	5.17	275.5
昭和 5年	1,470,121	729,439	740,682	70,864	5.06	279,746	110	98.5	5.26	289.5
昭和10年	1,546,394	764,751	781,643	76,273	5.19	292,254	116	97.8	5.29	305.5
昭和15年	1,588,425	776,541	811,884	42,031	2.72	302,116	119	95.6	5.26	313.8
昭和20年	1,966,862	908,228	1,058,634	378,437	23.82	369,982	147	85.8	5.32	388.5
昭和25年	2,139,037	1,036,932	1,102,105	172,175	8.75	407,609	160	94.1	5.25	425.1
昭和30年	2,205,060	1,074,181	1,130,879	66,023	3.09	423,617	165	95.0	5.21	438.0
昭和35年	2,306,010	1,128,734	1,177,276	100,950	4.58	483,634	173	95.9	4.77	458.0
昭和40年	2,701,770	1,343,167	1,358,603	395,760	17.16	637,164	202	98.9	4.24	535.0
昭和45年	3,366,624	1,694,854	1,671,770	664,854	24.61	873,929	252	101.4	3.85	662.9
昭和50年	4,149,147	2,095,295	2,053,852	782,523	23.24	1,152,380	311	102.0	3.60	811.2
昭和55年	4,735,424	2,383,157	2,352,267	586,277	14.13	1,418,917	354	101.3	3.34	920.8
昭和60年	5,148,163	2,588,365	2,559,798	412,739	8.72	1,572,575	385	101.1	3.27	999.6
平成 2年	5,555,429	2,802,774	2,752,655	407,266	7.91	1,813,903	416	101.8	3.06	1,077.5
平成 7年	5,797,782	2,923,839	2,873,943	242,353	4.36	2,015,296	434	101.7	2.88	1,124.5
平成12年	5,926,285	2,976,984	2,949,301	128,503	2.22	2,173,312	444	100.9	2.73	1,149.4
平成17年	6,056,462	3,029,486	3,026,976	130,177	2.20	2,325,232	453	100.1	2.60	1,174.5
平成22年	6,216,289	3,098,139	3,118,150	159,827	2.64	2,515,904	465	99.4	2.47	1,205.5
平成27年	6,222,666	3,095,860	3,126,806	6,377	0.10	2,609,132	466	99.0	2.38	1,206.5
令和 2年	6,284,480	3,117,987	3,166,493	61,814	0.99	2,773,840	470	98.5	2.27	1,218.5
令和 7年	6,258,512	3,094,053	3,164,459	△ 25,968	△ 0.41	2,875,923	468	97.8	2.18	1,213.7

注1) 令和7年は速報値であり、令和2年以前は各回国勢調査の確定値(10月1日現在)である。

ただし、昭和20年は資源調査法による人口調査の結果(11月1日現在)である。

注2) 人口指数は大正9年を100としたものである。

注3) 人口性比は女子100人に対する男子の数である。

注4) 人口密度は1km<sup>2</sup>当たりの数値(出典『千葉県統計年鑑』)である。令和7年の人口密度の算定に用いた面積は、「令和7年全国都道府県市区町村別面積調(10月1日時点)」による。